【資　　料】

資料 1.　調査団員・氏名

資料 2.　調査行程

資料 3.　関係者（面会者）リスト

資料 4.　討議議事録（M/D）

a）インセプション・レポート現地説明・協議

b）準備調査報告書（案）現地説明・協議

資料 5.　テクニカル・ノート

資料 6.　収集資料リスト

資料 1.　調査団員・氏名

1.　調査団員・氏名

氏　名	担　当	所　属
恒岡　伸幸	総括	国際協力機構
深田　裕也	協力企画	国際協力機構
渡邊　亮平	業務主任/橋梁計画	建設技研インターナショナル
土田　貴之	副業務主任／橋梁設計･道路設計	建設技研インターナショナル
森　修一	水理・水文	建設技研インターナショナル（補強）
清谷　啓介	自然条件調査（地形・地質）	建設技研インターナショナル
西　修一	施工計画・積算	建設技研インターナショナル
原田　拓也	環境社会配慮	建設技研インターナショナル
石井　裕子	通訳（西語）	建設技研インターナショナル（補強）

資料 2.　調査行程

2. 調査行程

第 1 次現地調査行程（インセプションレポート現地説明・協議）

2013 年 11 月 15 日～2013 年 12 月 20 日

日程				独立行政法人 国際協力機構		コンサルタント						
				総括	協力企画	業務主任／橋梁計画	副業務主任／橋梁設計・道路設計	水理・水文	自然条件調査（地形・地質）	施工計画・積算	環境社会配慮	通訳（西語）
No.	月日	曜日	a/p	恒岡伸幸	深田裕也	渡邊亮平	土田貴之	森修一	清谷啓介	西修一	原田拓也	石井裕子
1	11月15日	金	am			移動		移動	移動	移動		
			pm			(成田→New York) (New York→Maiami) (Maiami→Managua)		(成田→New York) (New York→Maiami) (Maiami→Managua)	(成田→New York) (New York→Maiami) (Maiami→Managua)	(成田→New York) (New York→Maiami) (Maiami→Managua)		
2	11月16日	土	am			国家運輸計画調査団と打合せ		国家運輸計画調査団と打合せ	国家運輸計画調査団と打合せ	国家運輸計画調査団と打合せ		
			pm			情報精査・分析		情報精査・分析	業務調整	現地業者と打合せ		
3	11月17日	日	am	移動		コンサルタント打合せ		コンサルタント打合せ	コンサルタント打合せ	コンサルタント打合せ		移動
			pm	NRT 0005-(JL002)-1615 SFO SFO 2055-(AA272)-0515 MIA MIA 1025-(AA1429)-1200 MGA	NRT 1640-(UA006)-1325 IAH IAH 1835-(UA1421)-2151 MGA	情報精査・分析		情報精査・分析	情報精査・分析	情報精査・分析		(成田→Atlanta) (Atlanta→Managua)
4	11月18日	月	am	パソレアル橋 現地視察		パソレアル橋 現地視察		パソレアル橋 現地視察	パソレアル橋 現地視察	パソレアル橋 現地視察		MD協議準備 西訳
			pm	同上		同上		同上	同上	同上		同上
5	11月19日	火	am	JICA事務所協議		JICA事務所協議		JICA事務所協議	JICA事務所協議	JICA事務所協議		JICA事務所協議
			pm	「二」国運輸インフラ省への表敬およびM/D協議		「二」国運輸インフラ省への表敬およびM/D協議		「二」国運輸インフラ省への表敬およびM/D協議	「二」国運輸インフラ省への表敬およびM/D協議	「二」国運輸インフラ省への表敬およびM/D協議		「二」国運輸インフラ省への表敬およびM/D協議
6	11月20日	水	am	「二」国運輸インフラ省への表敬およびM/D協議		MTIへの表敬およびM/D協議		MTIへの表敬およびM/D協議	MTIへの表敬およびM/D協議	MTIへの表敬およびM/D協議		MTIへの表敬およびM/D協議
			pm	M/D修正		再委託業者との協議		関連資料収集	再委託業者との協議	関連資料収集		関連資料翻訳
7	11月21日	木	am	MTIとM/D協議		MTIとM/D協議	移動	MTIとM/D協議	MTIとM/D協議	MTIとM/D協議	移動	MTIとM/D協議
			pm	MTIとM/D署名		MTIとM/D署名	(成田→New York) (New York→Maiami) (Maiami→Managua)	MTIとM/D署名	MTIとM/D署名	MTIとM/D署名	(成田→New York) (New York→Maiami) (Maiami→Managua)	MTIとM/D署名
8	11月22日	金	am	JICA現地事務所報告		JICA現地事務所報告	JICA現地事務所報告	JICA現地事務所報告	JICA現地事務所報告	JICA現地事務所報告	JICA現地事務所報告	JICA現地事務所報告
			pm	大使館報告		大使館報告	大使館報告	関連資料収集	再委託業者との協議	大使館報告	関連資料収集	関連資料翻訳
9	11月23日	土	am	移動	移動	再委託業者との協議	情報精査・分析	情報精査・分析	再委託業者との協議	情報精査・分析	情報精査・分析	情報精査・分析
			pm	MGA 1325-(AA971)-1700 MIA MIA 2035-(AA036)-	MGA 0715-(UA1423)-1144 IAH	コンサルタント打合せ	コンサルタント打合せ	コンサルタント打合せ	情報精査・分析	コンサルタント打合せ	コンサルタント打合せ	コンサルタント打合せ
10	11月24日	日	am	-(AA038)-1030 LHR	IAH 1040-(UA007)-	現地調査	橋梁・道路 現地調査	情報精査・分析	現地調査	現地調査	現地調査	関連資料翻訳
			pm			同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
11	11月25日	月	am	…	-(UA007)-1545 NRT	カウンターパートと協議	カウンターパートと協議	カウンターパートと協議	カウンターパートと協議	カウンターパートと協議	カウンターパートと協議	カウンターパートと協議
			pm	…		再委託業者との契約	関連資料収集	関連資料収集	再委託業者との契約	関連資料収集	関連資料収集	関連資料翻訳
12	11月26日	火	am			情報精査・分析	情報精査・分析	情報精査・分析	情報精査・分析	情報精査・分析	情報精査・分析	関連資料翻訳
			pm			同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
13	11月27日	水	am			MTI現地立会い	橋梁・道路 現地調査	移動	再委託業務 現地調査	施工計画・積算 現地調査	MTI現地立会い	MTI現地立会い
			pm			ムイムイ・マティグアス市現地立会	同上	(Managua→Maiami) (Maiami→New York)	同上	MTI・ムイムイ・マティグアス市現地立会	ムイムイ・マティグアス市現地立会	ムイムイ・マティグアス市現地立会
14	11月28日	木	am			カウンターパートと協議	橋梁・道路 現地調査	(New York→成田)	再委託業務 現地調査	施工計画・積算 現地調査	環境社会配慮 現地調査	環境社会配慮 現地調査
			pm			関連資料収集	同上		同上	同上	同上	同上
15	11月29日	金	am			情報精査・分析	現地調査まとめ		現地調査まとめ	施工計画・積算 現地調査	情報精査・分析	関連資料翻訳
			pm			同上	同上	日本着	同上	情報精査・分析	同上	同上
16	11月30日	土	am			情報精査・分析	橋梁・道路 現地調査		再委託業務 現地調査	施工計画・積算 現地調査	情報精査・分析	関連資料翻訳
			pm			同上	同上		同上	情報精査・分析	同上	同上
17	12月1日	日	am			情報精査・分析	現地調査まとめ		現地調査まとめ	施工計画・積算 現地調査	情報精査・分析	関連資料翻訳
			pm			同上	同上		同上	情報精査・分析	同上	同上
18	12月2日	月	am			Technical Note (T/N) 作成	Technical Note (T/N) 作成		現地調査	情報精査・分析	現地調査	カウンターパートと協議
			pm			同上	同上		関連資料収集	施工計画・積算 現地業者協議	関連資料収集	関連資料収集
19	12月3日	火	am			Technical Note (T/N) 作成	Technical Note (T/N) 作成		再委託業務 現地調査	情報精査・分析	ステークスホルダー会議準備	ステークスホルダー会議準備
			pm			同上	同上		同上	施工計画・積算 現地業者協議	同上	同上
20	12月4日	水	am			Technical Note (T/N) 作成	Technical Note (T/N) 作成		現地調査まとめ	情報精査・分析	ステークスホルダー会議	ステークスホルダー会議
			pm			同上	同上		同上	施工計画・積算 現地業者協議	ムイムイ・マティグアス市	ムイムイ・マティグアス市
21	12月5日	木	am			報告書作成	報告書作成		報告書作成	報告書作成	報告書作成	報告書作成
			pm			同上	同上		同上	同上	同上	同上
22	12月6日	金	am			報告書作成	報告書作成		報告書作成	報告書作成	報告書作成	報告書作成
			pm			MTIとのT/N協議	MTIとのT/N協議		MTIとのT/N協議	MTIとのT/N協議	MTIとのT/N協議	MTIとのT/N協議
23	12月7日	土	am			現地調査	現地調査		現地調査	現地調査	現地調査	関連資料翻訳
			pm			同上	同上		同上	同上	同上	同上
24	12月8日	日	am			現地調査	報告書作成		現地調査	現地調査	報告書作成	関連資料翻訳
			pm			同上	同上		同上	同上	同上	同上
25	12月9日	月	am			報告書作成	報告書作成		報告書作成	報告書作成	報告書作成	関連資料翻訳
			pm			同上	同上		同上	同上	同上	同上
26	12月10日	火	am			MTIとのT/N合意・署名	MTIとのT/N合意・署名		MTIとのT/N合意・署名	MTIとのT/N合意・署名	MTIとのT/N合意・署名	MTIとのT/N合意・署名
			pm			報告書作成	報告書作成		報告書作成	報告書作成	報告書作成	報告書作成
27	12月11日	水	am			報告書作成	報告書作成		報告書作成	報告書作成	報告書作成	関連資料翻訳
			pm			JICA事務所 帰国報告	JICA事務所 帰国報告		報告書作成	JICA事務所 帰国報告	報告書作成	同上
28	12月12日	木	am			移動	報告書作成		移動	移動	報告書作成	関連資料翻訳
			pm			(Managua→Maiami) (Maiami→New York)	同上		(Managua→Maiami) (Maiami→New York)	(Managua→Maiami) (Maiami→New York)	同上	同上
29	12月13日	金	am			(New York→成田)	報告書作成		(New York→成田)	(New York→成田)	報告書作成	関連資料翻訳
			pm				同上				同上	同上
30	12月14日	土	am				報告書作成				報告書作成	移動
			pm			日本着	同上		日本着	日本着	同上	(Managua→Atlanta)
31	12月15日	日	am				報告書作成				報告書作成	(Atlanta→成田)
			pm				同上				同上	
32	12月16日	月	am				報告書作成				報告書作成	
			pm				同上				同上	日本着
33	12月17日	火	am				報告書作成				報告書作成	
			pm				同上				同上	
34	12月18日	水	am				移動				移動	
			pm				(Managua→Maiami) (Maiami→New York)				(Managua→Maiami) (Maiami→New York)	
35	12月19日	木	am				(New York→成田)				(New York→成田)	
			pm									
36	12月20日	金	am									
			pm				日本着				日本着	

JICA調査団
マナグア(ニカラグア)
移動

JICA: Japan International Cooperation Agency
EOJ: Embassy of Japan
MD : Minutes of Discussion
TN: Technical Note

往路旅程 11月15日(金)、11月21日(木)
成田 (11:10) → New York (9:55) (JL006) 12h45m
New York (12:45) → Miami (16:00) (JL7470 3h15m
Maiami (18:45) → Managua (20:20) (AA993) 2h35m

往路旅程 11月27日(水)、12月12日(木)、12月18日(水)
Managua (08:15) → Maiami (11:50) (AA994) 2h35m
Maiami (13:30) → New York (16:25) (AA1510) 2h55m
Maiami (15:55) → New York (19:00) (AA1048) 3h05m 渡邊・森・清谷・西
New York (12:05) → 成田 (16:35(＋1日)) (JL005) 14h30m

往路旅程 11月17日(金) 石井
成田 (15:20) → Atlanta (13:34) (DL296)
12h14m
Atlanta (17:50) → Managua (20:35) (DL369)
3h45m

往路旅程 11月14日(土) 石井
Managua (08:35) → Atlanta (13:12) (DL370)
3h37m
Atlanta (12:15) → 成田 (16:35) (DL295)

第 2 次現地調査行程（準備調査報告書（案）現地説明・協議）

2014 年 5 月 21 日～2014 年 6 月 4 日

No.	月日	JICA	業務主任/橋梁計画	副業務主任/ 橋梁設計・道路設計	通訳（日西）
		恒岡　伸幸（総括） 深田　裕也（協力企画）	**渡邊 亮平**	**土田　貴之**	**鈴木　裕子**
1	5 月　21 日　（水）		移動（成田→シカゴ→マイアミ→マナグア）	移動（成田→シカゴ→マイアミ→マナグア）	移動（成田→シカゴ→マイアミ→マナグア）
2	22 日　（木）		JICA表敬、MTI協議	JICA表敬、MTI協議	JICA表敬、MTI協議
3	23 日　（金）		MTI協議	MTI協議	MTI協議
4	24 日　（土）		団内打ち合わせ	団内打ち合わせ	団内打ち合わせ
5	25 日　（日）	移動（成田→アトランタ→マナグア）	団内打ち合わせ	団内打ち合わせ	団内打ち合わせ
6	26 日　（月）	MTI協議、MTI大臣表敬、ミニッツ協議	MTI協議、MTI大臣表敬、ミニッツ協議	MTI協議、MTI大臣表敬、ミニッツ協議	MTI協議、MTI大臣表敬、ミニッツ協議
7	27 日　（火）	現場視察	MTI協議	MTI協議	MTI協議
8	28 日　（水）	ムルクク橋視察	ムルクク橋視察	ムルクク橋視察	資料収集
9	29 日　（木）	ミニッツサイン、JICA報告、大使館報告	ミニッツサイン、JICA報告、大使館報告	ミニッツサイン、JICA報告、大使館報告	ミニッツサイン、JICA報告、大使館報告
10	30 日　（金）	移動（マナグア→アトランタ→成田）	現地視察、ムイムイ市、マティグアス市表敬	現地視察、ムイムイ市、マティグアス市表敬	現地視察、ムイムイ市、マティグアス市表敬
11	31 日　（土）		現場視察	現場視察	翻訳作業
12	6 月　1 日　（日）		団内打ち合わせ	団内打ち合わせ	団内打ち合わせ
13	2 日　（月）		移動（マナグア→マイアミ→N.Y→成田）	移動（マナグア→マイアミ→N.Y→成田）	移動（マナグア→マイアミ→N.Y→成田）
14	3 日　（火）		移動（マナグア→マイアミ→N.Y→成田）	移動（マナグア→マイアミ→N.Y→成田）	移動（マナグア→マイアミ→N.Y→成田）
15	4 日　（水）		移動（マナグア→マイアミ→N.Y→成田）	移動（マナグア→マイアミ→N.Y→成田）	移動（マナグア→マイアミ→N.Y→成田）

マナグア(ニカラグア)

移動（表敬訪問等含む）

資料 3.　関係者（面会者リスト）

3.　関係者（面会者）リスト

運輸インフラ省（MTI）

Ing. Pablo Fernando Martínez Espinoza	大臣 Ministro
Ing. Amadeo Santana Rodríguez	副大臣 Viceministro
Ing. Franklin Sequeira López	副大臣 Viceministro
Sr. Ernesto Barrantes E.	道路総局　局長 Director General de Vialidad, MTI
Dra. Sofana Ubeda	法務部長 Directora Asesora Legal
Lic. Nelda Hernández Mercado	計画総局　局長 Directora General de Planificación
Ing. Marlon Sánchez	プロジェクト調整ユニット長 Director de la Unidad Coordinadora de Proyectos
Lic. Marianela Camacho Calderón	財務管理総局　局長 Directora Administrativa Financiera
Sr. Fabio Guerrero Osorio	環境管理ユニット　ユニット長 Director de Unidad de Gestión Ambiental
Sr. Miguel Moreno M.	投資前部　部長 Director, Preinversión ,MTI
Sr. Carlos Silva Cruz	道路保全部　部長 Director, DCV, MTI
Sr. Pedro Martínez J.	環境管理課 UGA-MTI
Sr. Helman Taleno	技術顧問 Asesor Técnico
Sra. Rosario Cajina	環境管理課　社会学者 Especialista Social, JGA-MTI
Sra. Maritza Bustillo	技術課 UTE-MTI
Sr. William Rosales	計画総局 DGP-MTI
Sr. Carlos Hernández	計画総局　法務顧問 Asesor Legal, DGP, MTI
Sra. Ana Cecilia Quezada Torres	法務顧問 Asesora Legal, MTI

Sra. Marlyn Gutiérrez	計画総局　スーパーバイザー Supervisor, DGP, MTI
Dra. Ana Cecilia Jaén	法務顧問 Asesora Legal, MTI
Sr. Eduardo José Martínez Rios	道路プロジェクト管理担当 Administrador de Proyectos Viales, MTI
Sr. Jairo Ramírez	プロジェクト管理担当 Administración de Proyectos, MTI
Sr. Abel Garache	道路保全部 Administración Vial, MTI
Sr. Miguel Naxono	投資審査部 Pre-inversión, MTI
Ing. Miguel Navarro	プロジェクト設計 Diseño de Proyectos, MTI
Ing. Joaquín Guevarra	プロジェクト設計 Diseño de Proyectos, MTI
Sr. Nomar Sampson	技術アシスタント Asistente Técnico, MTI

外務省

Lic. Rosana Espinoza	アジア太平洋局長 Directora de Asia, Oceanía
Lic. Auxiliadora Vindel Calderón	アジア・アフリカ・太平洋協力部長 Directora de Cooperación de Asia, África y Oceanía
Sra. Fadina Galán	国際政策協力課　コーディネーター Coordinadora de Política Internacional y Cooperación

ムイムイ市

Sra. Reina Isabel Ortega Gonzales	市長 Alcaldesa
Sr. Oscar Leonardo Sotedo Mendoza	副市長 Vice Alcalde
Sra. Ana María Ruiz M.	市議会　事務局長 Secretaria de Concejo
Sr. Ramón Herrera	GFCV コーディネーター Coordinador GFCV
Sr. César Ronaldo Hidalgo	環境部門責任者 Responsable, Unidad Ambiental
Sr. Wilhelm Luis Castro	プロジェクト部　部長 Director de Proyectos

Sr. Denis Martínez	地籍部門責任者 Responsable de Catastro
Sr. Grethel Medina Chavaarria	上下水道部門　責任者 Responsabe de Agua y Saneamiento
Sra. Paula Macario Ruiz	市議 Concejal Muy Muy
Sr. Elena González García	青少年委員会 C MNA
Sra. Fátima Roque Rojos	秘書 Secretaria
Sr. Judith Sacarleth Jarquín I.	サンディニスタ民族解放戦線 (FSLN) FSLN
Sr. Antonio González Giles	福音主義教会　牧師 Pastor, Iglesia Evangelica
Sr. Javiel Fausto Membreño G.	畜産業者 Ganadero
Sr. Mercedes Cortez Balfodavio	畜産業者 Productor pecuario
Sr. Isidro Montenegro Zomora	販売業 Comerciante
Sr. Efrein Castro Obregón	治安警備隊 Guardia de Seguridad
Sr. José Almendarez	農家 Agricultor
Sra. Merling Karlia Molino	主婦 Ama de casa

マティグアス市

Dr. Guanerje Mendoza	市長 Alcalde
Lic. Gloria María Hernandez	副市長 Vice Alcaldesa
Sr. Omar Aburto Borge	プロジェクト責任者 Reponsable de Proyectos
Sr. Carmelo Ruiz Valljos	プロジェクト担当 Técnico de Proyectos
Sr. Moises Daniel	計画課 PLANIFIC

Sra. Amelia Jiménez G.	市議会 Consejo municipal
Sr. Jorge Cenximo	広報 Comunicación y prensa
Sr. Zuegda Callado E.	販売業、地主 Comercio, Propietario
Sr. Carlos Ramon Quinteros. E.	ラ・エルモサ教会 Iglesia la Hermosa, Matiguas
Sr. Santiago Blaudin	プロジェクト計画部　部長 Director, Planificación de Proyectos
Sr. Marlou Scarlett	政治部　市政府代表 Delegado de Gobierno, Sec. Político
Sr. Eduardo Martínez	技師 Técnico
Alfredo Dávito	技師 Técnico

資料 4.　討議議事録（M/D）

a）インセプション・レポート現地説明・協議

4. 討議議事録（M/D-英文・西文）

a)-1 インセプション・レポート現地説明・協議（英文）（2013 年 11 月 21 日）

MINUTES OF DISCUSSIONS
ON
THE PREPARATORY SURVEY
FOR
THE PROJECT FOR CONSTRUCTION OF PASO REAL BRIDGE
IN
THE REPUBLIC OF NICARAGUA

In response to a request from the Government of Nicaragua, Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") in consultation with the Government of Japan sent a Preparatory Survey Team (hereinafter referred to as "the Team"), headed by Dr. Nobuyuki Tsuneoka, Senior Advisor of JICA, to the Republic of Nicaragua from November 15 to December 18, 2013 to discuss the Project for Construction of Paso Real Bridge (hereinafter referred to as "the Project").

JICA and the Ministry of Transport and Infrastructure (hereinafter referred to as "MTI"), first of all, agreed on the implementation of a Preparatory Survey (hereinafter referred to as "the Survey") of the Project.

The Team held discussions with officials concerned of the Government of Nicaragua and conducted a field survey in the project area.

In the course of discussions and field survey, both sides confirmed the main items described in the attached sheets. The Team will continue further studies and prepare a Preparatory Survey Report.

This Minutes of Discussions is made and signed both in English and Spanish. In the event of inconsistencies between the two versions, the English version will prevail.

Managua, 21 November, 2013

Dr. Nobuyuki Tsuneoka
Leader
Preparatory Survey Team
Japan International Cooperation Agency

Eng. Pablo Fernando Martínez Espinoza
Minister
Ministry of Transport and Infrastructure,
Republic of Nicaragua

Valdrack Jaentschke
Viceminister Secretary of
External Cooperation
Ministry of Foreign Affairs

ATTACHMENT

1. Title of the Project

Both Japanese and Nicaragua sides confirmed that the title of the Project shall be "the Project for Construction of Paso Real Bridge".

2. Objective of the Project

Both sides confirmed that the objective of the Project is to reconstruct a Paso Real bridge and approach roads to ensure acceleration and facilitation of road transportation.

3. Project Site

Both sides confirmed that the site of the Project is the same as or around the former location of Paso Real Bridge over Paso Real River, a part of National 21B Road between Muy-Muy and Matiguás municipality in the Matagalpa department of the Republic of Nicaragua.

The site of the Project is shown in Annex-1.

4. Objective of the Survey

Both sides confirmed the objective of the Survey as follows:

4-1. To understand the background and objective of the Project and examine its impacts and appropriateness.

4-2. To identify the components, and conduct outline design and cost estimation of the Project, based on the data and information collected from and the results of meetings with the Nicaragua side.

4-3. To study the issues of environmental and social considerations through the Survey

5. Responsible and Implementing Agency

Both sides confirmed the responsible and implementing organizations as follows:

5-1 The responsible and implementing organization is the Ministry of Transport and Infrastructure (MTI).

5-2 The organization chart of MTI is as shown in Annex-2.

5-3 After completion, el Fondo de Mantenimiento Vial (FOMAV) and MTI will be responsible for maintenance and management of the bridge and the roads constructed by the Project.

6. Components of the Project requested by the Nicaragua side

6-1 Both sides confirmed the components of the Project will include the following components:

6-1.1 Construction of a bridge which may have two vehicle lanes and pedestrian sidewalks.

6-1.2 Construction of approach roads on both sides.

6-2 Both sides also confirmed the following technical matters

6-2.1 Location of the new bridge will be the same location of the former Paso Real Bridge, which shall be confirmed at the mission of explaining the draft final report.

6-2.2 The temporary bridge will be demolished by MTI upon completion.

6-2.3 The temporary bridge must be continuously maintained for daily traffic as well as against natural disasters by MTI. In case the temporary bridge is used for transportation of materials and equipment of the Project, the Team will provide appropriate technical method for its reinforcement.

6-2.4 Other technical matters including the outline design of the new bridge will be considered by the Team and explained to MTI and other related organizations at the mission of explaining the draft final report.

7. Japan's Grant Aid Scheme

7-1 The Nicaragua side understands the Japan's Grant Aid scheme explained by the Team, as described in Annex-3 and Annex-4.

7-2 The Nicaragua side will take the necessary measures, as described in Annex-5, to facilitate the smooth implementation of the Project, as a condition for the Japan's Grant Aid to be implemented, according to the existing agreement between the Government of Japan and the Government of Nicaragua.

8. Environmental and Social Considerations

8-1 The Team explained the Project is categorized as "Category B" according to the JICA Guideline, since the Project is construction of the new bridge and approach roads ,and its impact on the environment may be expected.

8-2 The Nicaragua side understands the Project needs to follow the JICA guideline. Therefore the initial environmental examination (IEE) shall be done through the Survey.

8-3 The Nicaragua side shall obtain the Environmental Permit for the Project from Matiguas and Muy Muy Municipalities by the end of April 2014.

8-4 In case of the Project Affected Persons (PAPs) within the Project sites, MTI agreed to secure the appropriate budget to be allocated for resettlement and compensation and secure the land before the implementation of the Project. In this regard a Abbreviated Resettlement Action Plan (Abbreviated RAP) will be prepared and approved by the responsible authorities beforehand and MTI will take necessary measures to PAPs according to a Abbreviated RAP in close communication with JICA.

9. Schedule of the Survey

Both sides confirmed the schedule of the Survey as follows:

9-1 The Team will continue further studies in Nicaragua until 18 December, 2013.

9-2 JICA will prepare the Draft Final Report and send a mission team to explain its contents to MTI and other related organizations around May 2014. JICA will explain details of the Project including the final components and cost estimation to MTI and other related organizations.

9-3 JICA will finalize the Final Report and send it to MTI and other related organizations around August 2014.

9-4 The above schedule is tentative and subject to change.

10. Other Relevant Issues

10-1 The Nicaragua side understood the principle of the Japan's Official Development Assistance (ODA) Charter, which stresses that ODA must not be utilized for military purposes or promoting international conflicts, and agreed to ensure that the equipment to be procured in the Project will be never used for any military purposes.

10-2 The Nicaragua side confirmed that the following undertakings should be taken by the Nicaragua side at its own expense if implementation of the Project is accepted by the Government of Japan.

(1) To assist the procedure to secure sites for material storing yard, temporary construction yard and waste disposal for the Project.

(2) To relocate existing utilities within the Project site to designated area.

(3) To arrange issuance of license, permission and other necessary procedures for the Project

10-3 The Nicaragua side shall secure enough budget and personnel necessary for the operation and maintenance of the facilities implemented by the Project, including the periodical maintenance work after the completion of the Project.

10-4 The Nicaragua side shall, at its own expense, provide the Team with the following items in cooperation with other organizations concerned:

(1) security-related information as well as measures to ensure the safety of the survey team;

(2) information as well as support in obtaining medical service;

(3) data and information related to the Preparatory Survey;

(4) counterpart personnel;

(5) suitable office space with necessary equipment and services;

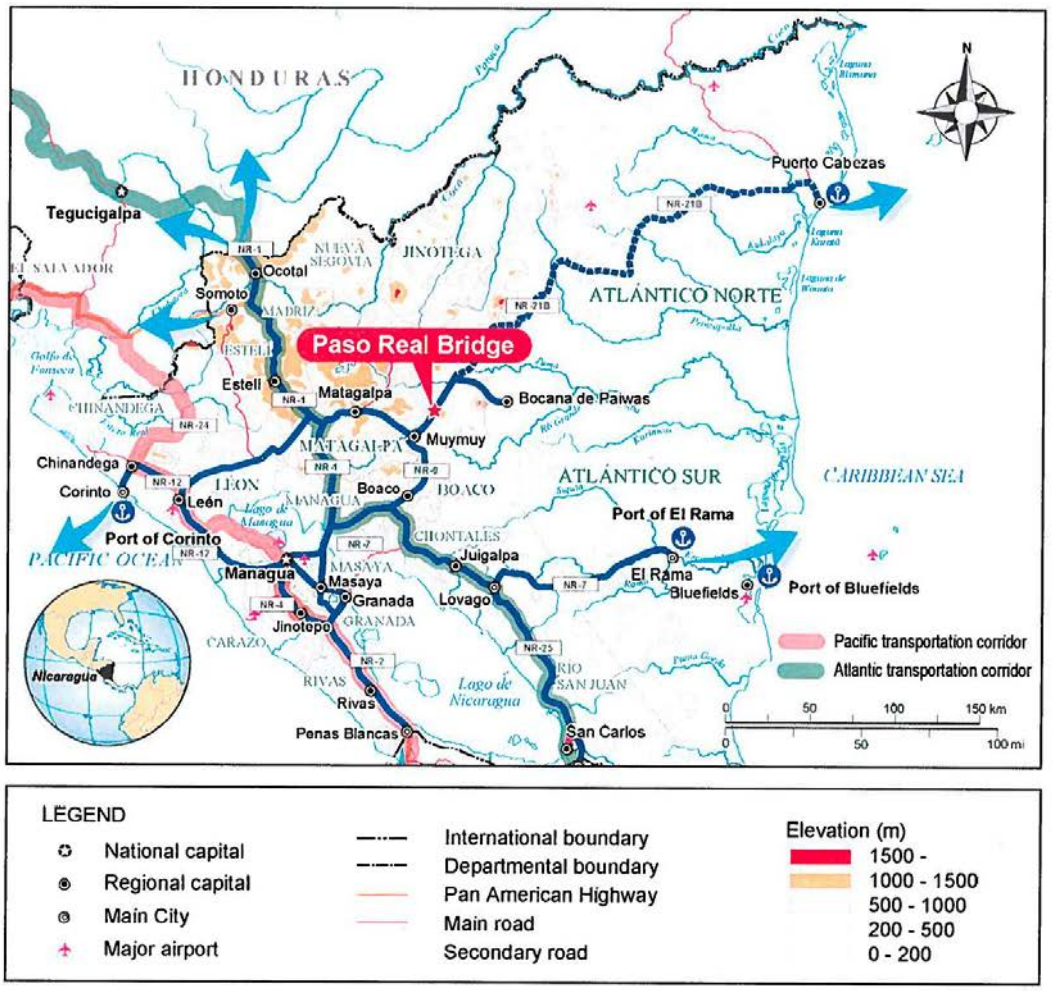
(6) credentials or identification cards;

(7) entry permits necessary for the survey team members to conduct field surveys; and

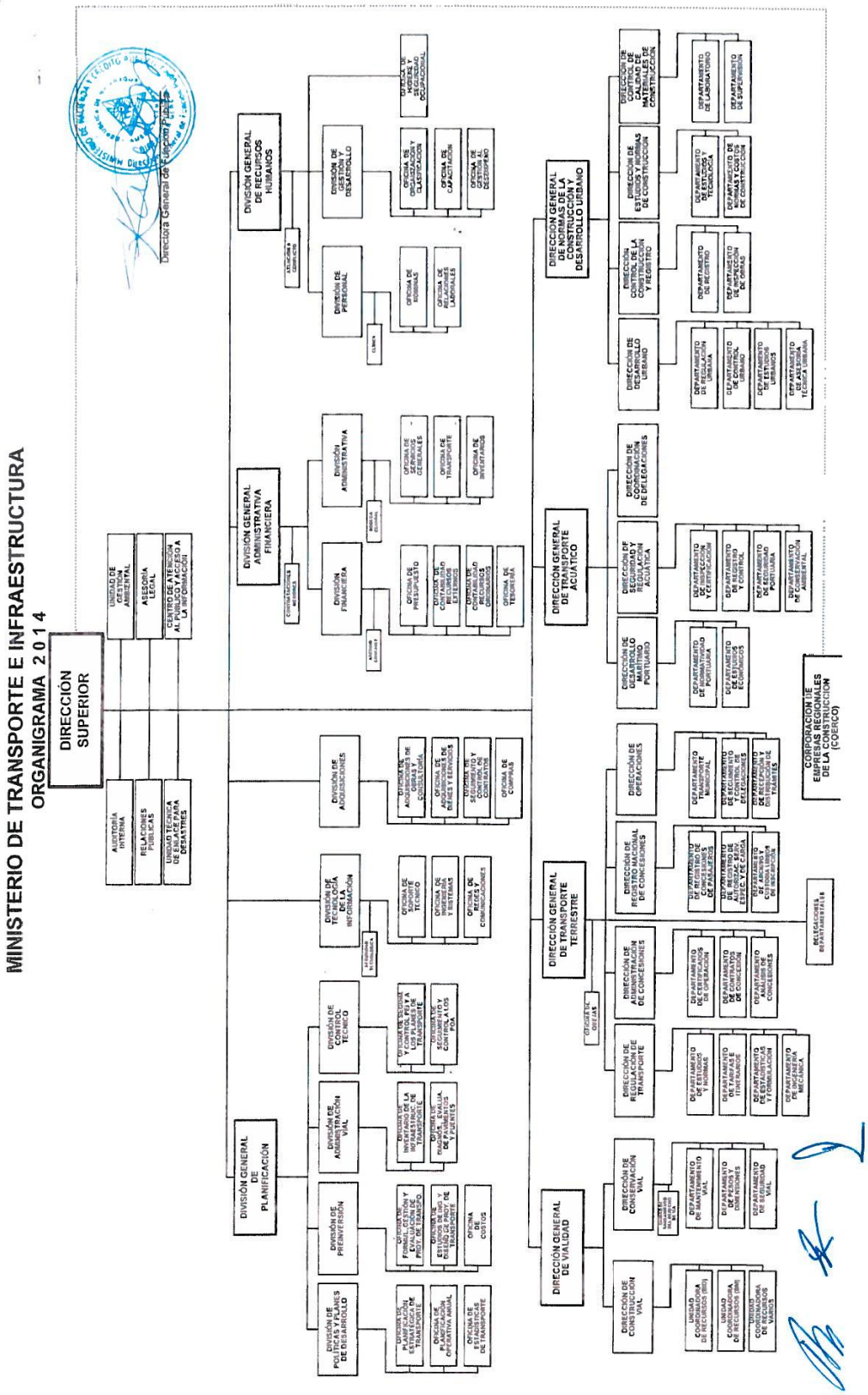
(8) support in obtaining other privileges and benefits if necessary.

Annex-1: Project Site
Annex-2: Organization Chart of MTI
Annex-3: Japan's Grant Aid Scheme
Annex-4: Flowchart of Japan's Grant Aid Procedure
Annex-5: Major Undertakings to be taken by Each Government

Annex-1: Project Site



Annex-2: Organization Chart of MTI



Annex-3: Japan's Grant Aid Scheme

JAPAN'S GRANT AID

The Government of Japan (hereinafter referred to as "the GOJ") is implementing the organizational reforms to improve the quality of ODA operations, and as a part of this realignment, a new JICA law was entered into effect on October 1, 2008. Based on this law and the decision of the GOJ, JICA has become the executing agency of the Grant Aid for General Projects, for Fisheries and for Cultural Cooperation, etc.

The Grant Aid is non-reimbursable fund provided to a recipient country to procure the facilities, equipment and services (engineering services and transportation of the products, etc.) for its economic and social development in accordance with the relevant laws and regulations of Japan. The Grant Aid is not supplied through the donation of materials as such.

1. Grant Aid Procedures

The Japanese Grant Aid is supplied through following procedures:

・Preparatory Survey

- The Survey conducted by JICA

・Appraisal &Approval

- Appraisal by the GOJ and JICA, and Approval by the Japanese Cabinet

・Authority for Determining Implementation

- The Notes exchanged between the GOJ and a recipient country

・Grant Agreement (hereinafter referred to as "the G/A")

- Agreement concluded between JICA and a recipient country

・Implementation

- Implementation of the Project on the basis of the G/A

2. Preparatory Survey

(1) Contents of the Survey

The aim of the preparatory Survey is to provide a basic document necessary for the appraisal of the Project made by the GOJ and JICA. The contents of the Survey are as follows:

- Confirmation of the background, objectives, and benefits of the Project and also institutional capacity of relevant agencies of the recipient country necessary for the implementation of the Project.
- Evaluation of the appropriateness of the Project to be implemented under the Grant Aid Scheme from a technical, financial, social and economic point of view.

- Confirmation of items agreed between both parties concerning the basic concept of the Project.
- Preparation of an outline design of the Project.
- Estimation of costs of the Project.

The contents of the original request by the recipient country are not necessarily approved in their initial form as the contents of the Grant Aid project. The Outline Design of the Project is confirmed based on the guidelines of the Japan's Grant Aid scheme.

JICA requests the Government of the recipient country to take whatever measures necessary to achieve its self-reliance in the implementation of the Project. Such measures must be guaranteed even though they may fall outside of the jurisdiction of the organization of the recipient country which actually implements the Project. Therefore, the implementation of the Project is confirmed by all relevant organizations of the recipient country based on the Minutes of Discussions.

(2) Selection of Consultants

For smooth implementation of the Survey, JICA employs (a) registered consulting firm(s). JICA selects (a) firm(s) based on proposals submitted by interested firms.

(3) Result of the Survey

JICA reviews the Report on the results of the Survey and recommends the GOJ to appraise the implementation of the Project after confirming the appropriateness of the Project.

3. Japan's Grant Aid Scheme

(1) The E/N and the G/A

After the Project is approved by the Cabinet of Japan, the Exchange of Notes(hereinafter referred to as "the E/N") will be signed between the GOJ and the Government of the recipient country to make a pledge for assistance, which is followed by the conclusion of the G/A between JICA and the Government of the recipient country to define the necessary articles to implement the Project, such as payment conditions, responsibilities of the Government of the recipient country, and procurement conditions.

(2) Selection of Consultants

In order to maintain technical consistency, the consulting firm(s) which conducted the Survey will be recommended by JICA to the recipient country to continue to work on the Project's implementation after the E/N and G/A.

(3) Eligible source country

Under the Japanese Grant Aid, in principle, Japanese products and services including transport or those of the recipient country are to be purchased. When JICA and the Government of the recipient country or its designated authority deem it necessary, the Grant Aid may be used for the purchase of the

products or services of a third country. However, the prime contractors, namely, constructing and procurement firms, and the prime consulting firm are limited to "Japanese nationals".

(4) Necessity of "Verification"

The Government of the recipient country or its designated authority will conclude contracts denominated in Japanese yen with Japanese nationals. Those contracts shall be verified by JICA. This "Verification" is deemed necessary to fulfill accountability to Japanese taxpayers.

(5) Major undertakings to be taken by the Government of the Recipient Country

In the implementation of the Grant Aid Project, the recipient country is required to undertake such necessary measures as Annex-5.

(6) "Proper Use"

The Government of the recipient country is required to maintain and use properly and effectively the facilities constructed and the equipment purchased under the Grant Aid, to assign staff necessary for this operation and maintenance and to bear all the expenses other than those covered by the Grant Aid.

(7) "Export and Re-export"

The products purchased under the Grant Aid should not be exported or re-exported from the recipient country.

(8) Banking Arrangements (B/A)

a) The Government of the recipient country or its designated authority should open an account under the name of the Government of the recipient country in a bank in Japan (hereinafter referred to as "the Bank"). JICA will execute the Grant Aid by making payments in Japanese yen to cover the obligations incurred by the Government of the recipient country or its designated authority under the Verified Contracts.

b) The payments will be made when payment requests are presented by the Bank to JICA under an Authorization to Pay (A/P) issued by the Government of the recipient country or its designated authority.

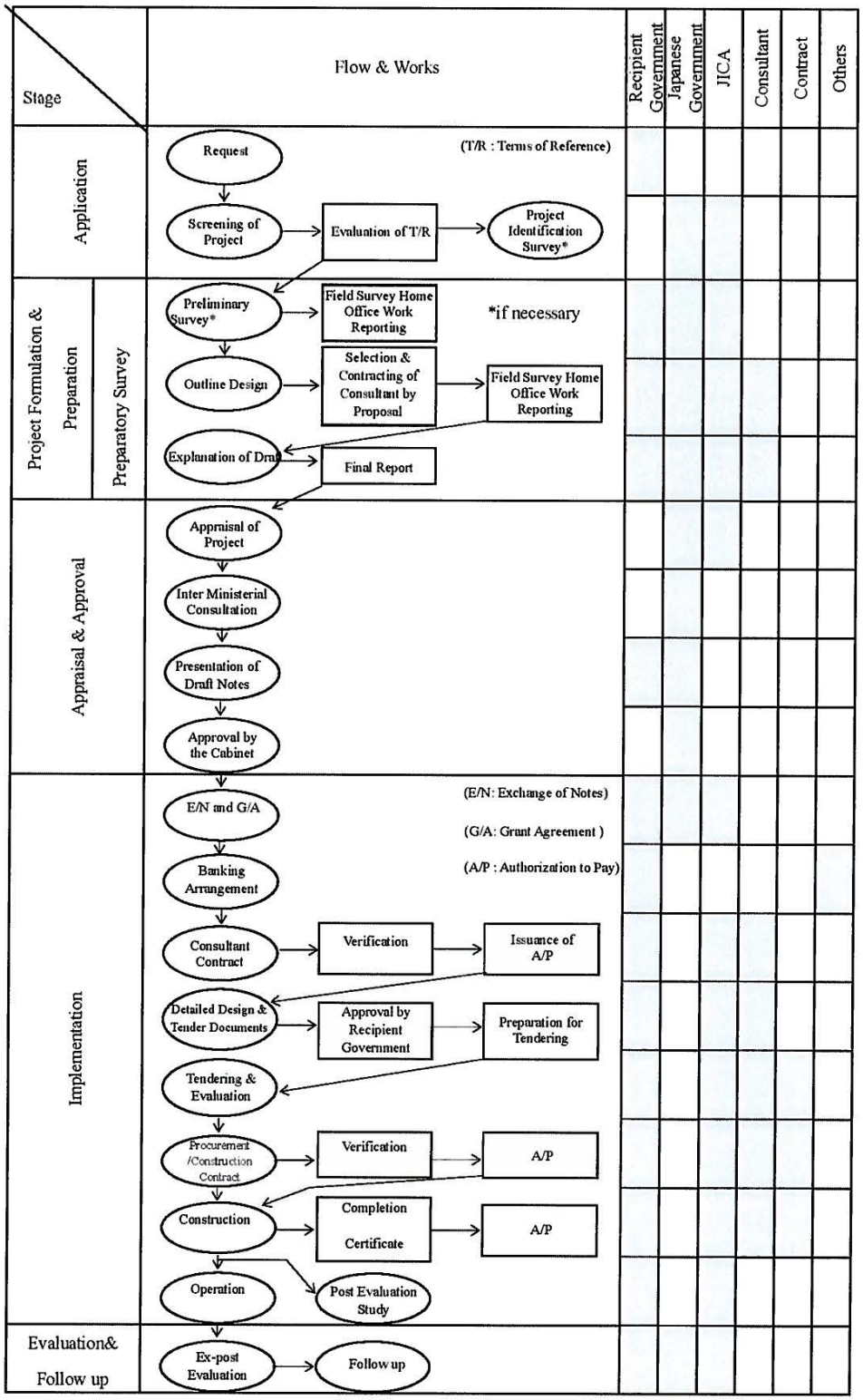
(9) Authorization to Pay (A/P)

The Government of the recipient country should bear an advising commission of an Authorization to Pay and payment commissions paid to the Bank.

(10) Social and Environmental Considerations

A recipient country must carefully consider social and environmental impacts by the Project and must comply with the environmental regulations of the recipient country and JICA socio-environmental guidelines.

nex-4: Flowchart of Japan's Grant Aid Procedure



Annex-5: Major Undertakings to be taken by Each Government

No.	Items	To be covered by Grant Aid	To be covered by Recipient Side
1	To secure lots of land necessary for the implementation of the Project and to clear the site		●
2	To ensure prompt unloading and customs clearance of the products at ports of disembarkation in the recipient country and to assist internal transportation of the products.		
	1) Marine (Air) transportation of the products from Japan to the recipient country	●	
	2) Internal transportation from the port of embarkation to the project site	(●)	(●)
3	To ensure that customs duties, internal taxes and other fiscal levies, which may be imposed in the recipient country with respect to the purchase of the products and the services be exempted.		●
4	To accord Japanese physical persons and / or physical persons of third countries whose services may be required in connection with the supply of the products and the services such facilities as may be necessary for their entry into the recipient country and stay therein for the implementation of the Project.		●
5	To ensure that the Facilities be maintained and used properly and effectively for the implementation of the Project.		●
6	To bear all the expenses, other than those covered by the Grant, necessary for the implementation of the Project.		●
7	To bear the following commissions paid to the Japanese bank for banking services based upon the B/A		●
	1) Advising commission of A/P		●
	2) Payment commission		●
8	3) To give due environmental and social consideration in the implementation of the Project.		●

(B/A: Banking Arrangement, A/P: Authorization to Pay)

.

a)-2　インセプション・レポート現地説明・協議（西文）（2013 年 11 月 21 日）

MINUTA DE DISCUSIONES
SOBRE
El ESTUDIO PREPARATORIO
PARA
EL PROYECTO DE CONSTRUCCIÓN DEL PUENTE PASO REAL
EN
LA REPÚBLICA DE NICARAGUA

En respuesta a la solicitud del Gobierno de Nicaragua, la Agencia de Cooperación Internacional del Japón (en adelante se denominará "JICA") en colaboración con el Gobierno del Japón envió un Equipo de Estudio Preparatorio (en adelante se denominará "El Equipo") presidido por el Dr. Nobuyuki Tsuneoka, Asesor Senior de JICA, a la República de Nicaragua a partir del 15 de noviembre al 18 de diciembre de 2013 para discutir el Proyecto de Construcción del Puente Paso Real (en adelante se denominará "el Proyecto").

JICA y el Ministerio de Transporte e Infraestructura (en adelante se denominará "MTI"), ante todo, acordaron la ejecución del Estudio Preparatorio (en adelante se donominará "el Estudio") para el Proyecto.

El Equipo mantuvo discusiones con los funcionarios relacionados del Gobierno de Nicaragua y realizaron los estudios en campo en el área del Proyecto.

En el transcurso de las discusiones y en los estudios en campo, ambas Partes confirmaron los principales items descritas en las hojas adjuntas. El Equipo continuará realizando estudios y preparará un Informe del Estudio Preparatorio.

Esta Minuta de Discusiones está redactada y firmada en Inglés y Español. En el caso de inconsistencia entre ambas versiones, el Inglés será la versión prevalecente.

Managua, 21 de Noviembre de 2013

Dr. Nobuyuki Tsuneoka
Jefe
Del Equipo de Estudio Preparatorio
Agencia de Cooperación Internacional del Japón

Ing. Pablo Fernando Martínez Espinoza
Ministro
Ministerio de Transporte e Infraestructura,
República de Nicaragua

Valdrack Jaentschke
Viceministro Secretario de
Cooperación Externa
Ministerio de Relaciones Exteriores

ADJUNTO

1. Título del Proyecto

Tanto la Parte japonesa como la nicaragüense han confirmado que el título del Proyecto será denominado "el Proyecto de Construcción del Puente Paso Real".

2. Objetivo del Proyecto

Ambas Partes han confirmado que el objetivo del Proyecto es la construcción del puente Paso Real y caminos de acceso para asegurar la aceleración y la facilitación del transporte vial.

3. Sitio del Proyecto

Ambas Partes han confirmado que el lugar del Proyecto es el mismo o alrededor del lugar anterior donde se encontraba el puente Paso Real sobre el Río Paso Real, que es parte de la Carretera Nacional 21B entre las municipalidades de Muy Muy y Matiguás en el departamento de Matagalpa en la República de Nicaragua.

El lugar del Proyecto se muestra en el Anexo 1.

4. Objetivo del Estudio

Ambas Partes han confirmado que los objetivos del Estudio son los siguientes:

4-1. Comprender los antecedentes y objetivos del Proyecto y examinar su impacto y su pertinencia.

4-2. Identificar los componentes, elaborar el diseño básico y estimar los costos del Proyecto, con base en los datos e informaciones recopilados y en las reuniones efectuadas con la Parte nicaragüense.

4-3. Estudiar los asuntos relacionados con las consideraciones ambientales y sociales a través del Estudio.

5. Agencia Responsable y Ejecutora

Ambas Partes han confirmado que las siguientes organizaciones son responsables y ejecutoras:

5-1 La organización responsable y ejecutora es el Ministerio de Transportes e Infraestructura (MTI).

5-2 El organigrama del MTI se muestra en el Anexo 2.

5-3 Después de la finalización, el Fondo de Mantenimiento Vial (FOMAV) y el MTI serán responsables del mantenimiento y administración del puente y carreteras construidas por el Proyecto.

6. Componentes del Proyecto solicitados por la Parte nicaragüense

6-1 Ambas Partes han confirmado que los componentes del Proyecto incluirán los siguientes:

6-1.1 Construcción de un puente que tenga dos carriles y aceras para peatones.

6-1.2 Construcción de los caminos de acceso por ambos lados.

6-2 Ambas Partes también han confirmado los siguientes asuntos técnicos.

6-2.1 La ubicación del nuevo puente será en el mismo lugar del antiguo Puente Paso Real, lo que será confirmado por la misión de explicación del borrador del informe final.

6-2.2 El puente temporal será demolido por el MTI una vez terminada la obra.

6-2.3 El puente temporal debe ser mantenido por el MTI de forma continua para el transporte diario así como frente a posibles desastres naturales. En caso de que el puente temporal sea utilizado para el transporte de materiales y equipos del Proyecto, el Equipo proporcionará las medidas técnicas apropiadas para su refuerzo.

6-2.4 Otros asuntos técnicos incluyendo el diseño básico del nuevo puente serán considerados por el Equipo y se explicará al MTI y otras organizaciones relacionadas por la misión de la explicación del Borrador del Informe Final.

7. Esquema de la Cooperación Financiera No Reembolsable del Japón

7-1. La Parte nicaragüense comprende el esquema de la Cooperación Financiera No Reembolsable del Japón explicado por el Equipo, como se señala en el Anexo 3 y Anexo 4.

7-2. La Parte nicaragüense tomará las medidas necesarias señaladas en el Anexo 5 para facilitar la apropiada ejecución del Proyecto como una condición para que la Cooperación Financiera No Reembolsable del Japón sea ejecutada conforme al acuerdo existente entre el Gobierno del Japón y el Gobierno de Nicaragua.

8. Consideraciones Ambientales y Sociales

8-1 El Proyecto explicado por el Equipo es categorizado como "Categoria B" de acuerdo a las directrices de JICA, ya que el Proyecto consiste en la construcción de un nuevo puente y caminos de acceso y cuyo impacto en el ambiente puede ser esperado.

8-2 La Parte nicaragüense comprende que el Proyecto necesita cumplir con las directrices de JICA. Por consiguiente, el examen ambiental inicial (EAI) será realizado a través del Estudio.

8-3 La Parte nicaragüense deberá obtener de las Alcaldías Municipales de Matiguas y Muy Muy el Aval Ambiental Municipal para el Proyecto para finales de abril de 2014.

8-4 En caso que hubieran Personas Afectadas por el Proyecto (PAPs) dentro del sitio del Proyecto, MTI prometió obtener la asignación presupuestal adecuada para el reasentamiento y la compensación y asegurar el terreno antes de la ejecución del Proyecto. En este sentido, será preparado y aprobado un Plan de Acción de Reasentamiento (PAR) por las autoridades responsables con antelación y el MTI tomará las medidas necesarias para las PAPs de acuerdo al PAR mediante estrecha comunicación con JICA.

9. Cronograma del Estudio

Ambas Partes han confirmado el siguiente cronograma del Estudio:

9-1 El Equipo continuará realizando estudios en Nicaragua hasta el 18 de diciembre de 2013.

9-2 JICA preparará el Borrador del Informe Final y enviará una misión para explicar su

contenido a MTI y otras organizaciones relacionadas alrededor de mayo de 2014. JICA explicará detalles del Proyecto incluyendo los componentes finales y los costos estimados a MTI y otras organizaciones relacionadas.

9-3 JICA concluirá el Informe Final y lo enviará a MTI y otras organizaciones relacionadas alrededor de agosto de 2014.

9-4 El cronograma mencionado es tentativo y sujeto a cambios.

10. Otros Asuntos Importantes

10-1 La Parte nicaragüense entendió los principios de la Carta de la Asistencia Oficial para el Desarrollo del Japón (AOD), la cual enfatiza que la AOD no debe ser utilizada para los propósitos militares ni para promover los conflictos internacionales y prometió asegurar que los equipos a ser proporcionados por el Proyecto nunca serán utilizados para ningún propósito militar.

10-2 La Parte nicaragüense ha confirmado que las siguientes acciones deben ser realizadas por la Parte nicaragüense a sus propias expensas, si la ejecución del Proyecto es aceptada por el Gobierno del Japón.

(1) Apoyar en las gestiones de aseguramiento de los lugares para el almacenamiento de materiales, lugar para las construcciones temporales y la gestión de residuos del Proyecto.

(2) Trasladar los servicios públicos existentes dentro del sitio del Proyecto al área designada.

(3) Tramitar la emisión de licencias, permisos y otros trámites necesarios para el Proyecto.

10-3 La Parte nicaragüense deberá asegurar el suficiente presupuesto y el personal necesario para la operación y el mantenimiento de las facilidades ejecutadas por el Proyecto incluyendo los trabajos de mantenimiento período después de la conclusión del Proyecto.

10-4 La Parte nicaragüense a sus propias expensas deberá proveer al Equipo los siguientes items en cooperación con otras organizaciones concernientes:

(1) Información relacionada con la seguridad así como las medidas a ser tomadas para garantizar la seguridad del Equipo ;

(2) Información y apoyo para la obtención de servicios médicos;

(3) Datos e informaciones relacionados con el Estudio Preparatorio;

(4) Personal contraparte;

(5) Espacios de oficinas adecuadas con el Equipo y los servicios necesarios;

(6) Credenciales o tarjetas de identificación;

(7) Permisos de ingreso necesarios para los miembros del Equipo de Estudio para la realización de estudios en campo; y

(8) Apoyo para resolver otras necesidades y beneficios si fueran necesarios.

Anexo 1: Sitio del Proyecto

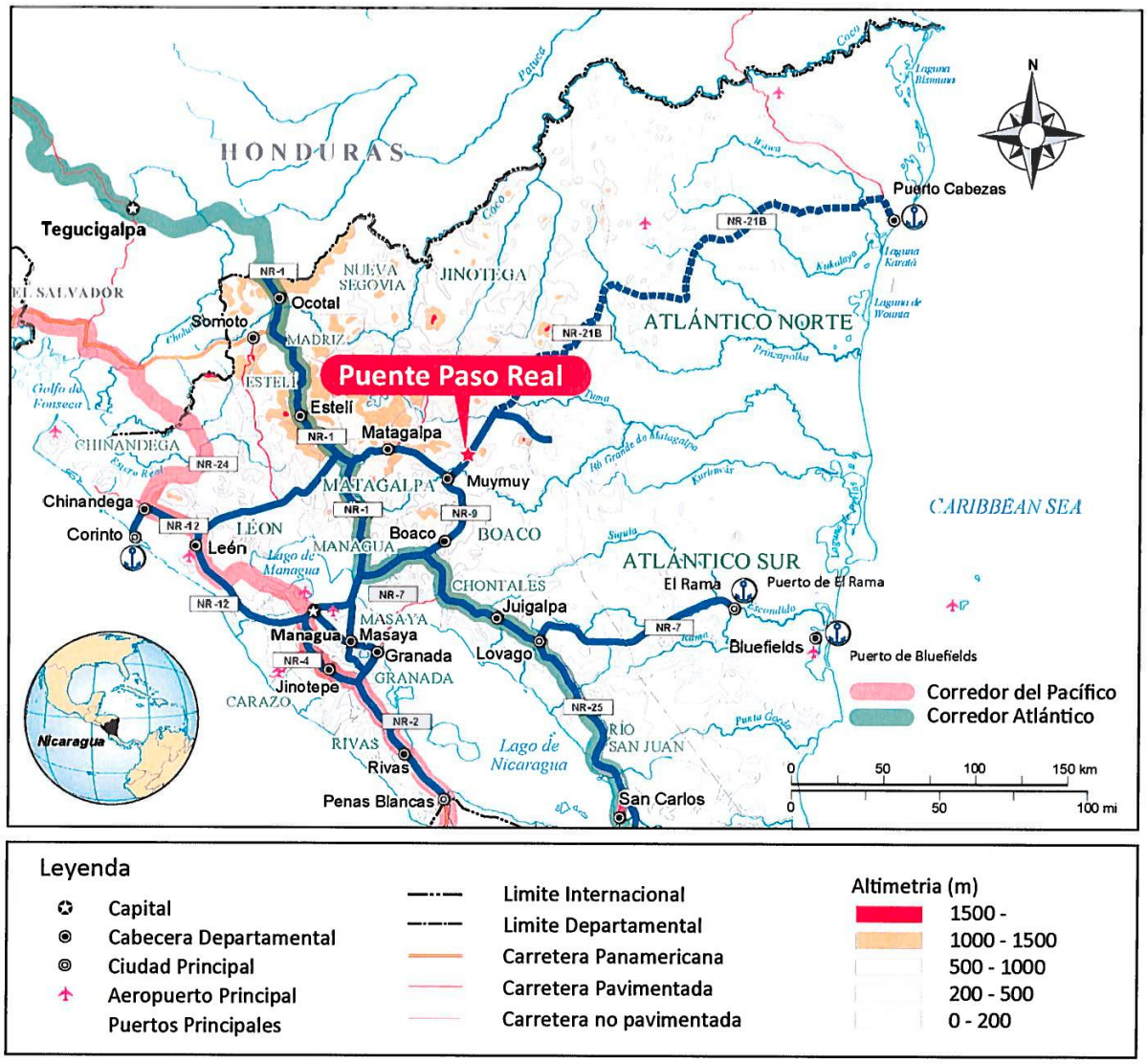
Anexo 2: Organigrama del MTI

Anexo 3: Esquema de la Cooperación Financiera No Reembolsable del Japón

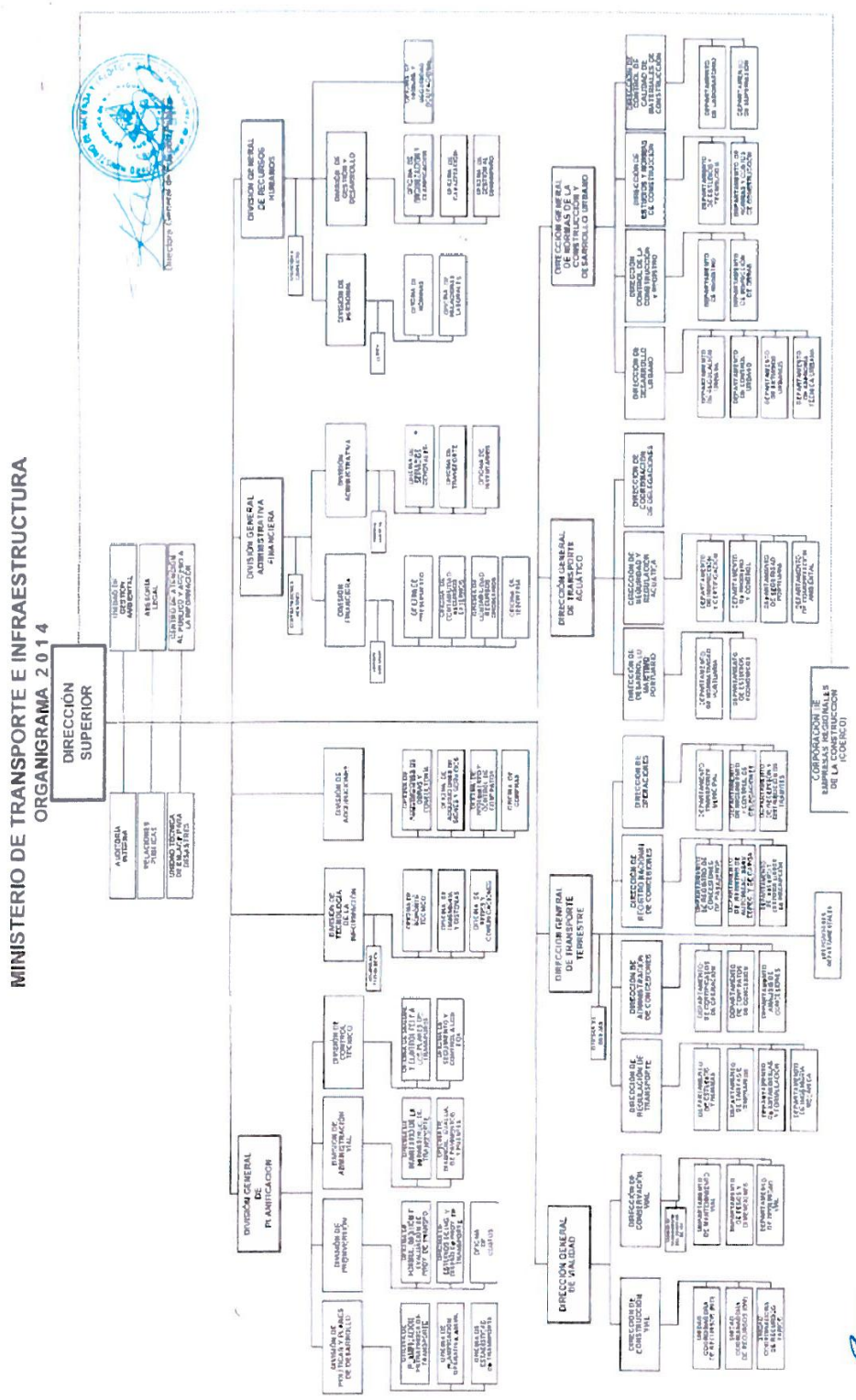
Anexo 4: Diagrama de flujo de los Procedimientos de la Cooperación Financiera No Reembolsable del Japón

Anexo 5: Principales acciones a ser tomadas por cada Gobierno.

Anexo 1: Sitio del Proyecto



Organigrama del MTI



Esquema de la Cooperación Financiera No Reembolsable del Japón

El Gobierno del Japón (en adelante se denominará "GdJ") realiza la reforma organizacional para mejorar la calidad de operaciones de la Asistencia Oficial para el Desarrollo (AOD). Como una parte de este reajuste una nueva ley de JICA entró en vigencia el 1 de octubre de 2008. Con base en esta ley y la decisión de GdJ, JICA llegó a ser la agencia ejecutora de los Proyectos Generales de la Cooperación Financiera No Reembolsable en los rublos de la pesca y la cultura entre otros.

La Cooperación Financiera No Reembolsable canaliza el fondo no reembolsable a un país receptor para adquirir instalaciones, equipos y servicios (servicios de ingeniería, transporte de los productos, etc.) con el fin de contribuir al desarrollo económico y social del país acorde a las leyes y los reglamentos del Japón. La Cooperación Financiera No Reembolsable no se realiza a través de la donación de materiales, etc.

1. Procedimientos de la Cooperación Financiera No Reembolsable

Se realiza la Cooperación Financiera No Reembolsable del Japón como lo siguiente:

- Estudio Preparatorio
  - Estudio ejecutado por JICA
- Evaluación y Aprobación
  - Evaluación por GdJ y JICA, y aprobación por el Gabinete del Japón
- Autoridades relacionadas a la decisión de ejecución
  - Notas canjeadas entre GdJ y el país receptor
- Acuerdo de Donación (en adelante se denominará "el A/D")
  - Acuerdo establecido entre JICA y el país receptor
- Ejecución
  - Implementación del Proyecto con base en el A/D

2. Estudio Preparatorio

(1) Contenido del estudio

El propósito del Estudio Preparatorio es proveer de un documento básico necesario para la aprobación del Proyecto por JICA y por el GdJ. Los contenidos del Estudio son:

- Confirmación de los antecedentes, objetivos, y beneficios del Proyecto y capacidad institucional de las agencias concernientes del país receptor necesarias para la implementación del Proyecto.
- Evaluación de la pertinencia del Proyecto que se implementa bajo el esquema de la Cooperación Financiera No Reembolsable desde los puntos de vista técnicos, financieros, sociales y medio-ambientales.
- Confirmación de los ítems acordados entre ambas Partes acerca del concepto básico del Proyecto.
- Preparación de un diseño básico del Proyecto.
- Estimación de los costos del Proyecto.

Por consiguiente, los contenidos originales de la solicitud no será automáticamente aprobados como objeto

de la Cooperación Financiera No Reembolsable. El Diseño Básico del Proyecto será confirmado con base en el lineamiento del esquema de la Cooperación Financiera No Reembolsable de Japón.

JICA exigirá al Gobierno del país receptor tomar todas las medidas necesarias para promover su autonomía en la implementación del Proyecto. Estas medidas deberán ser garantizadas aunque estén fuera de la jurisdicción de la entidad ejecutora del Proyecto en el país receptor. Por lo tanto, la ejecución del Proyecto será confirmada por todas las organizaciones relevantes del país receptor mediante las Minutas de Discusiones.

(2) Selección de la compañía consultora

Para realizar el Estudio sin contratiempo, JICA selecciona compañía(s) consultora(s) - entre aquellas registradas en JICA - mediante una licitación en la que presentan sus propuestas.

(3) Resultados del Estudio

JICA revisa el informe en cuanto a los resultados del Estudio y recomienda al GdJ la aprobación para la implementación del Proyecto después de confirmar su pertinencia.

3. Esquema de la Cooperación Financiera No Reembolsable

(1) C/N y A/D

Después de que el Gabinete del Japón apruebe el Proyecto, el Canje de Nota (en adelante se denominará "C/N") será firmado entre el GdJ y el Gobierno Receptor con el fin de asegurar la asistencia, a lo cual sigue la suscripción del A/D entre JICA y el Gobierno del país receptor para definir los artículos necesarios para la implementación del Proyecto, tales como condiciones de pago, responsabilidades del Gobierno del país receptor, y condiciones de adquisición.

(2) Selección de Consultores

Para mantener la consistencia tecnológica, la(s) compañía(s) consultora(s) que se encargaron del Estudio serán recomendadas por JICA al país receptor para continuar su trabajo en la implementación del Proyecto después de las firmas del C/N y A/D.

(3) País de procedencia elegible

La Cooperación Financiera No Reembolsable requiere la compra de los productos y servicios japoneses o del país receptor incluyendo el transporte. Cuando JICA y el Gobierno del país receptor o las autoridades designadas por él consideran necesario, los productos o servicios del tercer país se permiten ser adquiridos a través del esquema de la Cooperación Financiera No Reembolsable. Sin embargo, los contratistas principales, es decir, las compañías de construcción y proveedores, así como las compañías consultoras deben ser nacionales japoneses.

(4) Necesidad de Verificación

El Gobierno del país receptor o su autoridad designada concertará los contratos en yenes japoneses con los nacionales japoneses. Estos contratos deberán ser verificados por JICA. Esta verificación debe satisfacer el fundamento para rendir cuenta a los contribuyentes japoneses.

(5) Responsabilidad del Gobierno del país receptor

Para la implementación del Proyecto de la Cooperación Financiera No Reembolsable, el Gobierno del país receptor tomará las medidas necesarias como se explica en el Anexo-5.

(6) Uso Adecuado

El Gobierno del país receptor deberá asegurar que las instalaciones construidas y los productos adquiridos bajo la Cooperación Financiera No Reembolsable sean debida y efectivamente mantenidos y utilizados para la ejecución del Proyecto y asignar el personal necesario a tal fin. Deberá también sufragar todos otros gastos necesarios para la ejecución del Proyecto que no se cubren por la Cooperación Financiera No Reembolsable.

(7) Exportación y Reexportación

Los productos adquiridos bajo la Cooperación Financiera No Reembolsable no deberán ser exportados ni reexportados del país receptor.

(8) Arreglo Bancario

a) El gobierno de país receptor o su autoridad designada deberá abrir una cuenta bancaria a nombre del Gobierno del país receptor en un banco en Japón (en adelante .se denominará "el Banco"). JICA efectuará la Cooperación Financiera No Reembolsable a través de desembolso en yenes japoneses para cubrir las obligaciones contraídas por el Gobierno del país receptor o la autoridad designada por él bajo los Contratos Verificados.

b) Los pagos se efectuarán, cuando el Banco presente las solicitudes de pago a JICA en virtud de la autorización de pago (A/P) expedida por el Gobierno del país receptor o su autoridad designada.

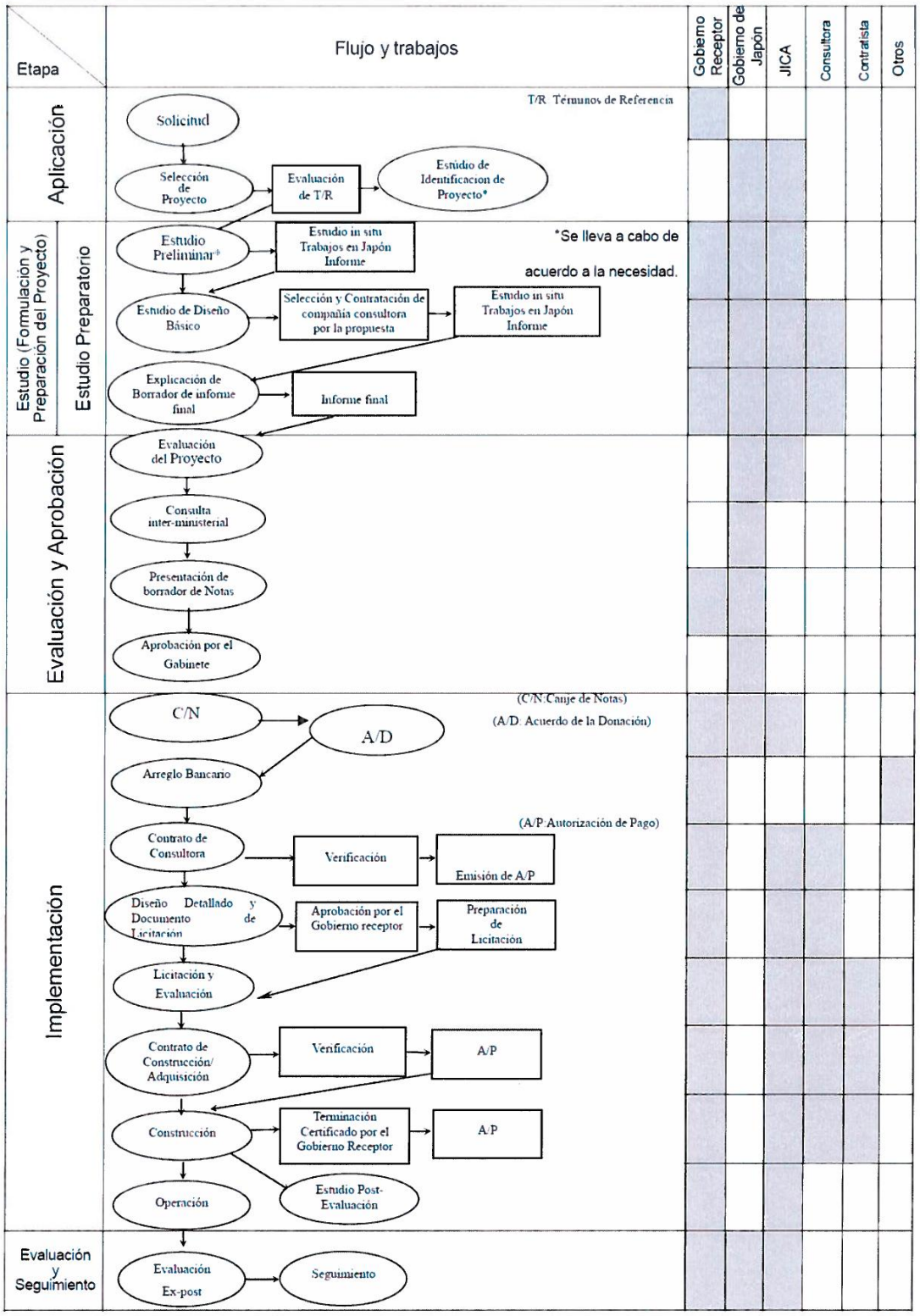
(9) Autorización de Pago (A/P)

El Gobierno del país receptor deberá cubrir la comisión de aviso de la Autorización de Pago y comisiones de pago al Banco.

(10) Consideraciones medioambientales y sociales

El país receptor deberá considerar cuidadosamente los impactos ambientales y sociales que se pueden ocasionar por el Proyecto y cumplir con las regulaciones medioambientales del país receptor y las directrices socio-ambiental de JICA.

Anexo 4: Diagrama de flujo de los Procedimientos de la Cooperación Financiera n Reembolsable del Japón



Anexo 5: Principales acciones a ser tomadas por cada Gobierno

Cargos de ambos países en la Cooperación Financiera No Reembolsable

No.	Ítems	Cargo de Japón	Cargo de Nicaragua
1	Asegurar los lotes de terreno necesarios para la implementación del Proyecto y la limpieza del sitio.		●
2	Asegurar la pronta descarga y despacho de aduanas de los productos en los puertos de desembarque del país receptor y ayudar en el transporte interno de los productos.		
	1) Transporte marítimo(aéreo) de los equipos y materiales del Proyecto del Japón al país receptor	●	
	3) Gestiones sobre el transporte interno rápido desde el punto de desembarque hasta el sitio del Proyecto	(●)	(●)
3	Garantizar que los derechos aduaneros, los impuestos internos y otros impuestos fiscales que pudieran ser gravados en el país receptor con respecto a la compra de productos y servicios serán exonerados.		●
4	Otorgar el permiso de entrada y permanencia en el país receptor a las personas naturales japonesas y /o a las personas naturales de terceros países cuyos servicios pudieran ser requeridos con relación al abastecimiento de productos y servicios tales como facilidades que pudieran ser necesarias para la ejecución del Proyecto.		●
5	Asegurar que las Facilidades del Proyecto sean mantenidas y utilizadas adecuada y efectivamente para la implementación del Proyecto.		●
6	Sufragar todos los gastos indirectos necesarios para la ejecución del Proyecto excepto aquellos cubiertos por la Cooperación Financiera No Reembolsable del Japón		●
7	Con respecto al Proyecto, pagar las siguientes comisiones al banco del Japón por los servicios bancarios basados en el A/B.		
	1) Comisión por notificación de la A/P		●
	2) Comisión de Desembolso		●
8	3) Al ejecutar el Proyecto, realizar las adecuadas consideraciones ambientales y sociales		●

(A/B) Arreglo Bancario, (A/P) Autorización de Pago